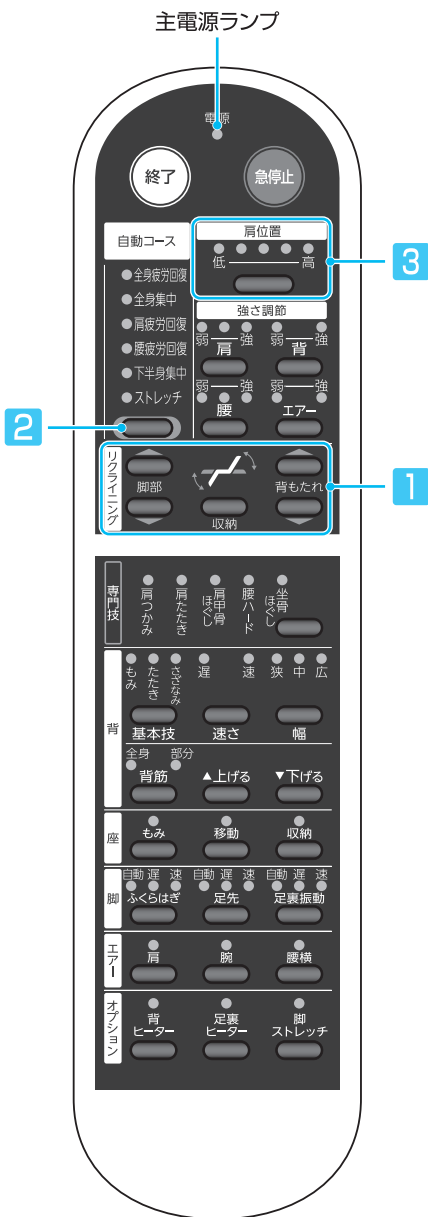


# AS-790 カンタン操作ガイド

主電源ランプ



- 主電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、本体の主電源を入れてください。
- 枕を後ろに回して、お座りください。

## 自動コース

1 背部と脚部をお好みの位置に合わせてください。

- 背部： を押すと背もたれ部が起き上がります。  
 背もたれ を押すと背もたれ部が倒れ、脚部が上がります。
- 脚部： を押すと脚部が上がります。  
 脚部 を押すと脚部が下がります。

2 自動コース を押し、お好みのコースを選択してください。

- 選択した自動コースのランプが点灯します。

3 自動コースを選択すると、もみ玉が肩位置を自動的に検知します。検知した肩位置は、 を押し、 を押して変更できます。

- 肩位置は9段階から選択できます。



## 自動コースの種類

- 全身疲労回復 …… 全身をくまなく移動しながらマッサージを行うコース
- 全身集中 …… 全身を部位ごとにじっくりとマッサージを行うコース
- 肩疲労回復 …… 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコース
- 腰疲労回復 …… 腰のコリや疲れをやわらげるコース
- 下半身集中 …… 腰・お尻・脚を重点的にマッサージし、下半身の疲れをやわらげるコース
- ストレッチ …… ストレッチ動作を中心としたマッサージコース

# 自動コース動作中の調節

## 肩の強さを調節したいとき

肩でお好みの強さに調節します。  
● 肩強さは、5段階から選択できます。

## 背の強さを調節したいとき

背でお好みの強さに調節します。  
● 背強さは、2段階から選択できます。

## 腰の強さを調節したいとき

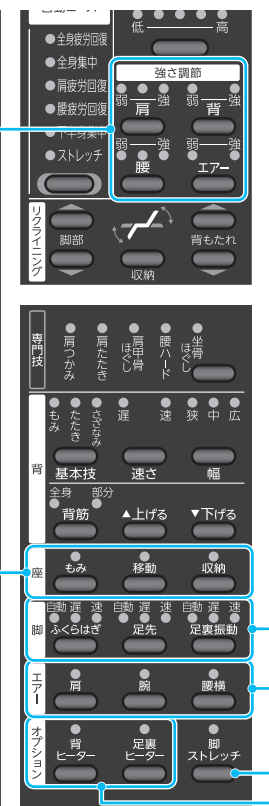
腰でお好みの強さに調節します。  
● 腰強さは、5段階から選択できます。

## エアークッション強さを調節したいとき

エアークッションでお好みの強さに調節します。  
● エアークッション強さは、2段階から選択できます。

## 座部マッサージをしたいとき

もみ 移動 を押します。  
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。  
● 収納 を押すと、座部マッサージが終了し、もみ玉(座)が収納されます。



## 脚部マッサージをしたいとき

ふくらはぎ 足先 足裏振動 を押します。  
● ボタンを押すごとに「自動」→「遅」→「速」→「切」と切り替わります。

## 肩・腕・腰横エアークッションを入/切したいとき

肩 腕 腰横 を押します。  
● それぞれボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

## 脚ストレッチをしたいとき

脚ストレッチ を押します。  
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

## ヒーターを入/切したいとき

背ヒーター 足裏ヒーター を押します。  
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。  
※背ヒーターは、背もたれ部マッサージと同時に使用しない場合、90秒間のみ動作します。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全上のご注意

### ⚠ 警告

- (1) 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。  
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- (2) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- (3) アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- (4) 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- (5) マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- (6) 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- (7) 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服(ズボンなど)のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- (8) 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・プレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- (9) 次の人は使用しない。  
医師からマッサージを禁じられている人  
(例: 血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- (10) 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師に相談する。  
(詳しくは取扱説明書を参照)
- (11) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (12) お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (13) リクライニングするときは、必ず周囲(本体の後部、前部、側部、下部など)に人やペット、物がいないことを確認する。
- (14) ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所長時間触れるような使い方をしない。
- (15) 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。